

# 大阪府立病院機構大阪国際がんセンター

高度先進医療を提供する環境にやさしいがん医療の基幹病院

## 建物概要

- 所在地：大阪市中央区大手前3丁目
- 建築主：株式会社大阪メディカルサポート PFI
- 用途：病院
- 設計者：大阪府立成人病センター整備事業 日本設計・竹中工務店共同企業体

- 敷地面積：12,833.42㎡
- 建築面積：6,821.79㎡
- 延べ面積：68,268.61㎡
- 構造：RC造、一部S造、免震構造
- 階数：地上13階/地下2階
- CASBEE：Aランク/BEE値1.9
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減3.0/省エネ対策4.0  
みどり・ヒートアイランド対策4.0



## 【立地、周辺環境】

行政機能が集積する中央区大手前地区に立地し、前面道路に面して大手門への参道として建物北側低層部の屋上緑化と連続させた緑豊かな歩行者動線を拡幅整備するとともに、地下鉄谷町四丁目駅から当施設に至る地下連絡通路を延長することで地区の回遊性を高めている。

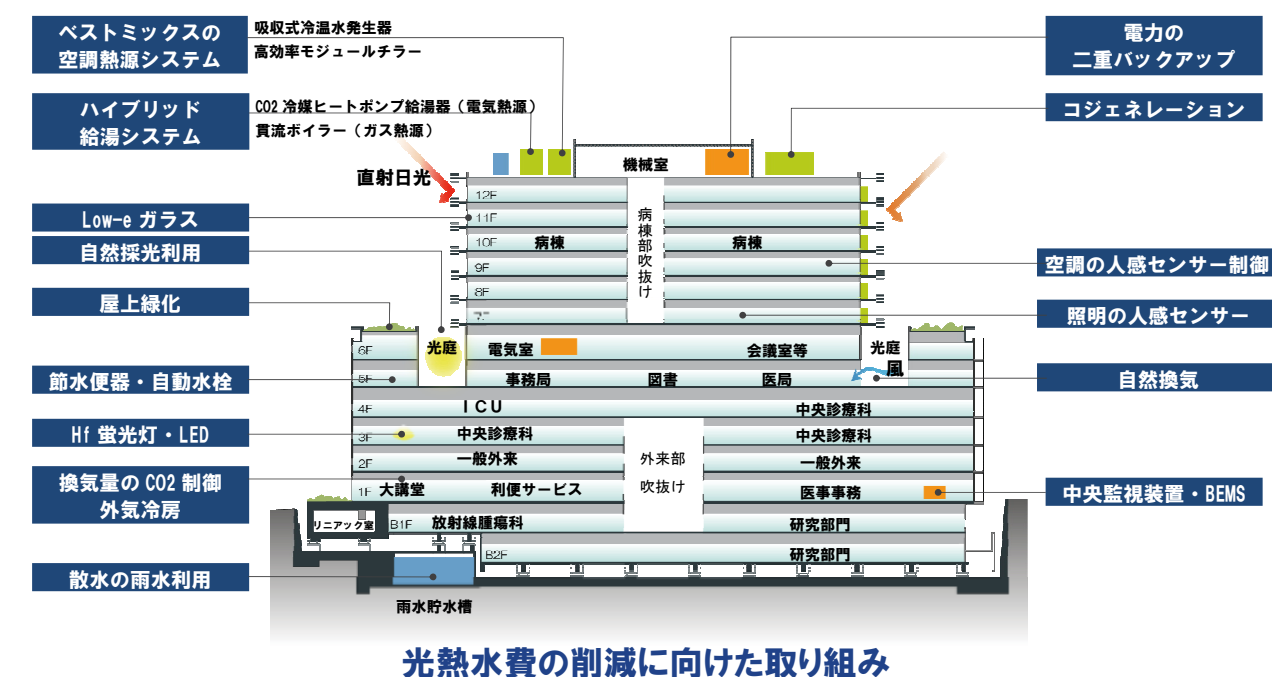
市道大手橋線に面するアプローチ空間には当敷地から出土した徳川氏による大阪城再建時の刻印石を利用した石庭を整備し、大阪城を中心とした周辺環境と調和を図ることで質の高い都市空間を形成している。

## 【総合的なコンセプト】

同センターは、「病院」機能に加え、治療成績向上のための方法を見出す「研究所」機能と、大阪府のがん患者のデータ収集から予防と早期発見に努める「がん対策センター」機能が一体となった最先端の専門病院。

「がんの征圧」を使命とし、「がん医療日本一」を目指して、高度先進医療の実践など先進的な役割を果たすための環境の充実をはかる。施設整備にあたっては、患者さんにとって安全で優しい「ストレスフリーな療養環境の場」の実現、チーム医療の促進のための「コラボレーションの場」の創出、良好な職務環境のための「オンからオフの切り替えの場」の提供、将来の医療環境の変化や患者のニーズの変化に柔軟に対応できる「フレキシビリティの高い施設環境」の実現を4つの基本コンセプトに機能性と環境に配慮した様々な工夫を盛り込んで計画。安全で優しい病院として地域に愛される病院となることを目指す。

## 建物断面構成図



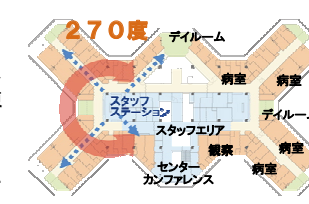
## 環境配慮事項とねらい

地域に愛される病院としてまちなみ景観に配慮するとともに、環境負荷低減、施設の長寿命化、メンテナンス性の向上を実現した、高度先進医療を提供する患者さんと環境にやさしいがん医療の基幹病院

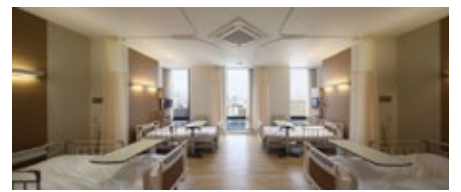
### 良好な治療環境

**ストレスフリー 患者さん、周辺環境に優しい病院**

- ・ツインエックス型病棟は機能性、効率性に優れ、スタッフステーションから病室までの距離が短く、病棟廊下に向かう3方向へ270度視野が広がるコンパクトな病棟構成を実現。
- ・建築物表面等の高温化抑制に配慮し、低層部屋上を緑化、高層部には夏季の日射を抑制するバルコニーを設置、低層部外壁には明るい色彩を採用。
- ・病室空調方式は、患者さんにとって使い勝手がよいルームエアコン方式を採用。屋外機を設置したバルコニーには景観に配慮した目隠しパネルを設置。
- ・トイレ照明のオート制御、人感センサーを設置。
- ・外構および低層部屋上緑化には、地域特性の植生に配慮。
- ・給湯は、蒸気ボイラーとCO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯機を併用したハイブリッド式熱源にコジェネレーションの排熱利用を加えた高効率なシステムを採用。
- ・排水処理設備は敷地外への環境影響を考慮し、感染性排水処理設備、検査排水処理設備、RI排水処理設備、厨房排水処理設備を採用。
- ・前面道路には大手門への参道として歩道拡張を行い緑地帯を設置。アプローチには歴史を継承する大阪城の刻印石を利用した石庭を整備。



機能性に優れたツインエックス型病棟

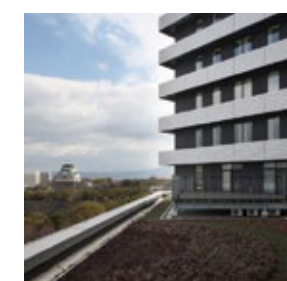


将来個室病室に改修可能な4床室

### 良好な職務環境・チーム医療の促進

**コラボレーション 高機能で信頼性の高い空間の実現**

- ・受電方式は、地中引込み、特別高圧22kVであり、電源の信頼性確保の為に2回線引込み（1系：本線・2系：予備電源）を採用。
- ・非常用発電機は停電時、重要負荷に出来るだけ早く電源を供給する事と、燃料備蓄量を抑える為に燃費を重視し、10秒起動のディーゼルエンジンを採用。
- ・電力ピークカット対策として、コジェネレーションシステムを採用。モジュールチラーも散水機能付の高効率機種とし、もっとも電力需要が多いと思われる盛夏の日中は散水を行い消費電力を制御。
- ・冷房時のベース機はガスコジェネレーションの排熱を利用する排熱利用冷温水発生機とし、負荷に応じて追いかけ運転可能な部分負荷効率のよい電力系のモジュールチラーを設置。



室外機を隠すバルコニーと屋上緑化



歴史を継承する大阪城の刻印石を利用した石庭



拡幅された並木通りと建物上部の緑地帯

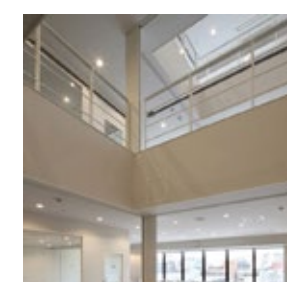


落ち着いた雰囲気のホテルストリート

### 最先端医療の継続

**フレキシビリティ 将来の環境変化に対応できる施設計画**

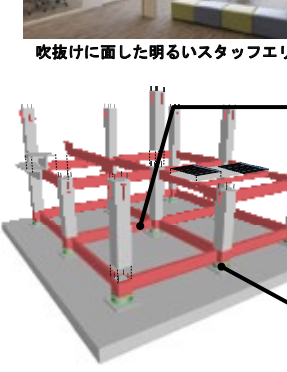
- ・鉄骨梁によるロングスパン構造を採用し可変性・更新性に配慮。
- ・災害時における医療機能継続には、免震構造の採用や3日間電源供給可能な非常用発電機を装備。
- ・中央監視設備は各機器等の状態・監視を行い、製造熱量、エネルギー使用量、機器の運転効率などを計測演算し、運用段階において、コミショニングや運用改善が行えるように、各種データ収集・演算を行うBEMSを設置。
- ・空調熱源設備は、災害時などにおける医療機能継続性と年間を通しての高効率運用を重視した構成。電力需要のピークカットも考慮したシステムを採用。



吹抜けに面した明るいスタッフエリア



建物周囲の植栽が歩行者を自然に誘導する街区中通り



耐震性の向上により高寿命化を実現する免震柱脚



型枠廃材を削減したPcc柱



非常用ディーゼル発電機



散水付モジュールチラー